

21世紀における日本の人口問題

文・DONNY ACHIRUDDIN
(工学部)

私の紹介

私は、ドニ・アキルディンと申します。昨年の四月にインドネシアのジャカルタから日本にきました。日本に来る前は、ジャカルタのダルマ・ペルサダ大学の海洋工学部(Marine & Ocean Engineering)で教えていました。

ダルマ・ペルサダ大学は、元インドネシアから日本に留学した人たちが創りました。世界ではこのような大学はインドネシアにはありません。ダルマ・ペルサダ大学には四つの学部があり、経済学部と海洋工学部と工学部と人文学部があります。人文学部の中には日本語学科もあります。

私は今、工学部のエンジニアリング・システムで溶接による応用腐食割れを勉強しています。この専門はとても面白い。人間だけがストレスで倒れるのではなく、鋼もストレスで壊れるのです。

私の出身はスマトラのパダンで、生年月日は一九六〇年十二月十九日です。趣味はスポーツを見ることや旅行をすることや友だちをつくること。料理をすることも好きです。今年三月の終わりで国際交流会館に住んでいます。友だちになりたければ、どうぞ自由に連絡してください。

日本では結婚したくない若者がなぜ増えるのでしょ

五年後は二十一世紀になり、今から世界の国々は二十一世紀にどうなるかを考えています。日本はお金持ちで高い技術国なので、二十一世紀になるとどうなるかについて今から考えなければなりません。

日本では、二十一世紀の始めごろはまだ五年か十年後なので、現在と較べてあまり変わらないと思います。しかし、日本の三十年か五十年後には、人口問題が深刻になると思っています。なぜなら、最近の若者の考え方(特に都会にいる若者)と昔の人の考え方はたいへん変わりました。

都会では最近、結婚したくない若者が増えました。結果をみれば、結婚したくない人の数は女の人のほうが男の人より多いです。結婚したくない理由はいろいろありますが、だいたいの理由は、子どもや自由にならないことや辛いことをしたくないなどのことです。

このことの結果は、五年か十年後にはまだ大きくない問題かも知れません。しかし、三十年、五十年後には、今の結果がとても大きく現れます。その時に日本の人口をみれば、子供の数がとても少ない、でも年寄りの数がすくなく大勢です。この不均衡な人口では国の状態はとても良くないし、経済も悪くなります。

日本はお金持ちの国だが、家ではお母さんは三番目の人なのです

日本は最近お金持ちで高いレベルの国ですが、なんでも欲しい物が買える、どこへも行ける、楽しい物もたくさんある、ビデオ

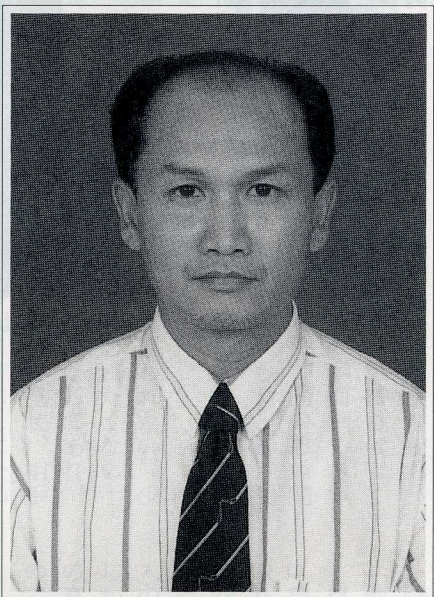
オヤステレオセットなどいろいろなあります。機械は自動化し使いやすい。生活は楽になりました。今の若者は、生活が楽しくて楽になりましたから、辛いことをあまりしたくなくりました。

結婚することはあまり辛いけれど、子どもが生まれたら大変になります。それで、最近の若者の考えることは、子どもがいれば大変だから結婚しないほうが良いです。

この考え方は、男の人より女の人に多いようです。なぜなら、女の人は結婚したら男の人より大変になります。結婚して子どもが生まれたら仕事を止めないといけない。日本の生活は一般的に、お母さんたちが家で掃除をするし、洗濯をするし、食べ物を作るし、お風呂を準備するし、お父さんの物もかたづけなければなりません。子どもが生まれたら、子どもを守ることに教育はすべてお母さんの責任です。お母さんの責任はとても大きい。

しかし、家ではお母さんは三番目の人です。一番はお父さん、二番は子ども、それから最後にお母さんです。お父さんは仕事に疲れて家に帰って、何もしたくない我が儘になりま。この生活を見れば、女の人は男の人より結婚したくなくなるのだと思います。

今から結婚する人が少なくなっている結果、三十年、五十年後に日本はとても困るでしょう。その時に子どもがとも少ない、しかし、年寄りが大勢です。子どもが少ないから学校や、玩具会社や、子ども関係の会社などが少なくなるでしょう。労働者も少なくなると、日本の社会は困ります。



日本の人口問題には四つの解決法があります

一、子どもがいれば楽しい

今の若者の考え方は、子どもがいればとても辛いです。この考え方は間違っていない。しかし、辛いこと以外にたくさん楽しいことあります。子どもたちは可愛くて面白いです。子どもがいれば、お母さんは家で寂しくない。お父さんが仕事をしている時間、子どもと一緒に遊びます。お父さんは家に帰って、お母さんや子どもと話したり、遊んだり、楽

年寄りが大勢いる。そうなると政府から年寄りのためにお金をださなければなりません。こんな具合に、だんだん日本の経済は悪くなります。今から解決法について一緒に考えませんか?

二、お父さんは家族のために時間をとくならなければなりません

お父さんの時間は、いつも仕事のためというのはいけません。家族のための時間も作らないといけません。土曜日と日曜日は家族の日ですが、普通の日も、仕事が終わったらずぐ家に帰った方がいいです。しかし、お父さんは家に帰っても我が儘することはいけません。我が儘をしたらお母さんも困ります。お父さんは家でお母さんを助けてあげてください。たとえば、子どもを守る時、家の物を片づけるとか、そうすればお母さんが嬉しくなります。子どもの教育はすべてお母さんの責任とい

三、子どもは大きくなって親を忘れないでください

最近の若者は、自分で生活できるようにしようと親を忘れるようになりました。これは良くないことです。私は、たくさん日本人の両親からこの話を聞きました。若者が自分で生活できるようになった時、親は年寄りになっています。その時は子どもからのやさしさが欲しいです。若者たちは親の気持ちを良く考えてください。最近の若者は親の気持ちを考えないから、自分の子どもも欲しくなくなる。もし、子

もたちが親にやさしくしたら、だんだん自分の子どもも欲しくなるでしょう。

四、Free Sex は悪いことです

私があるテレビ番組で見たことですが、番組の中で四十人の若い女性(二〇〜二四歳)に Free Sex について質問していました。みなさんはボタンを押して答えを出しました。その女性の中で二人だけまだ少女でした。あの時、私は本当に驚愕しました。

私のイメージは、九五%の独身の日本人女性は結婚とは関係なしに Sex するのだろうか、ということ。もしこのことが本当だとすれば、悪いことじゃないですか。なぜ、結婚までに Sex するのでしょうか。世界の大きい宗教(たとえば ISLAM, BUDDHA, CATHOLIC, etc) の rule では Sex することができないのは夫婦だけです。結婚しなくても Sex することが良いのです。だんだん結婚の意義が薄くなって病気が増えてきます。Sex は遊びのためだけにやなくて、子どもを作るためにもっとも重要なことです。もし Sex することが楽しくなければ、人間をしていてもおもしろくない。その結果、人間が大地からいなくなる。

若者の考え方でこのことが悪いと思ったら、結婚の意義はとも大きくなって、結婚をする男女が増えるでしょう。

この四つの解決法は、今から一緒に考えませんか?